

「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進にあたって、京都市、（公財）大学コンソーシアム京都が取り組んできた、主な新型コロナウイルス感染症への対応

1 京都市における主な取組

① 京都市わかもの就職支援センター相談窓口の拡充

就職やブラックバイトに関する相談など、学生生活に関する幅広い相談に対応するとともに、支援制度や適切な窓口を紹介。

② 大学生等を対象としたアルバイト（非常勤職員）の臨時募集

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、アルバイト先の休業や雇止め、勤務シフトの減少等により経済状況が悪化した大学生等を対象に、非常勤職員（パートタイム会計年度任用職員）の臨時募集を実施。

③ 経済的支援策等の情報発信

経済的支援を必要としている学生に確実に情報が届けられるよう、市内大学等の相談窓口を整理して一覧に取りまとめ、国の経済的支援策とともに、京都市情報館や本市の公式SNS、「大学のまち京都・学生のまち京都」公式アプリKYO-DENTにおいて発信。

④ 学生の学びの環境創出事業（令和2年度5月補正予算計上）

京都市と（公財）大学コンソーシアム京都が協働で、キャンパスプラザ京都において、無料Wi-Fiが利用できる環境や貸出用ノートパソコン、プリンタ等を整備するとともに、遠隔授業の受講や自習等に利用できる学生スペースを開設し、その運営の補助として学生スタッフを雇用（9月末まで実施）。

なお、10月以降も、自習スペースとして令和3年3月まで開設（（公財）大学コンソーシアム京都が費用負担）。

⑤ 学生向けアルバイト情報を紹介する特設サイトの開設

民間企業と連携し、京都市内の学生向けアルバイト情報を紹介する特設サイトを開設し、市内アルバイトの求人情報と事業所が実施する感染症防止対策に係る情報を紹介。

⑥ 大学における学生支援強化特別対策事業（令和2年度7月補正予算計上）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、京都市内の各大学・短期大学における、不安や困難を抱える学生への支援等を新たに実施・充実させる取組に対して補助。

⑦ 中小企業等担い手確保・育成支援事業

（令和2年度7・9・11月補正予算計上）

学生を含む週20時間以上勤務の非正規雇用労働者を雇用する事業者も補助対象とするなど、コロナ禍で収入が減少した学生の支援にもつながる補助金を創設。

⑧ **後期授業の開始に向けた学生向けメッセージの発出**

大学等の後期授業の開始にあたり、コロナ禍で不安を抱える学生を応援するメッセージを、京都市長と、加盟校を代表して（公財）大学コンソーシアム京都理事長の連名で発信。

⑨ **京都駅における学生向け応援映像の発信**

大学の後期授業が始まり、京都を訪れ、暮らす学生が多くなる時期に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた学生を歓迎するための映像を、（公財）大学コンソーシアム京都及び民間企業と協力し、京都駅で放映。

⑩ **国への要望**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、経済的困難が生じた学生に対して、修学に係る経済的負担軽減策の充実等によるきめ細やかな支援を実施するよう、国に対して繰り返し要望。令和2年11月には、京都市と大学コンソーシアム京都との協働でとりまとめた国への要望内容を、京都市市長が代表して、直接、文部科学大臣に要望。

2 **（公財）大学コンソーシアム京都における主な取組**

① **学生の学びの環境創出事業（令和2年度5月補正予算計上）【再掲】**

京都市と（公財）大学コンソーシアム京都が協働で、キャンパスプラザ京都において、無料 Wi-Fi が利用できる環境や貸出用ノートパソコン、プリンタ等を整備するとともに、遠隔授業の受講や自習等に利用できる学生スペースを開設し、その運営の補助として学生スタッフを雇用（9月末まで実施）。

なお、10月以降も、自習スペースとして令和3年3月まで開設（（公財）大学コンソーシアム京都が費用負担）。

② **後期授業の開始に向けた学生向けメッセージの発出【再掲】**

大学等の後期授業の開始にあたり、コロナ禍で不安を抱える学生を応援するメッセージを、京都市長と、加盟校を代表して（公財）大学コンソーシアム京都理事長の連名で発信。

③ **京都駅における学生向け応援映像の発信【再掲】**

大学の後期授業が始まり、京都を訪れ、暮らす学生が多くなる時期に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた学生を歓迎するための映像を、（公財）大学コンソーシアム京都及び民間企業と協力し、京都駅で放映。

④ **国への要望【再掲】**

令和2年11月、京都市と大学コンソーシアム京都との協働でとりまとめた国への要望内容を、京都市市長が代表して、直接、文部科学大臣に要望。